

平成30年度 にこにこアンケート(児童) 結果・考察

		とても	ふつう	あまり
1	あなたは、 <small>がっこう たの</small> 学校が楽しいですか。	58	34	8
2	あなたは、 <small>ともだち</small> 友達となかよくしていますか。	70	28	2
3	あなたは、学校で、友だちの話を聞いたり、自分の思ったことを伝えたりすることができます	50	45	6
4	あなたは、 <small>がっこう</small> 学校ですすんで <small>がくしゅう</small> 学習していますか。	47	44	8
5	あなたは、 <small>ともだち</small> 友達にやさしくしていますか。	52	45	3
6	あなたは、 <small>かつどう</small> たてわり活動などで、 <small>ひと</small> いろいろな人と <small>たの</small> かかわることが楽しいですか。	64	31	5
7	あなたは、 <small>すす</small> 進んで <small>からだ</small> 体をうごかしていますか。	57	33	10
8	あなたは、 <small>けんこう</small> 健康のことを考えて <small>しょくじ</small> 食事をとっていますか。	45	47	8
9	あなたは、 <small>びょうき</small> 病気やけがをしないように <small>き</small> 気をつけて <small>せいかつ</small> 生活していますか。	60	32	8
10	あなたは、 <small>がっこうせいかつ</small> 学校生活の <small>まも</small> きまりを守ることができますか。	36	59	5
11	あなたは、 <small>つぎ</small> ステップアップカードなどで、 <small>もくひょう</small> 次の目標を立てることができますか。	48	42	10
12	あなたは、 <small>しんぱい</small> 心配なことや <small>こま</small> 困ったことがあるとき、 <small>ひと</small> おうちの人や先生、 <small>おとな</small> 周りの大人に話することができますか。	45	42	13
13	あなたは、 <small>ちいき</small> 地域のお祭りや活動などに <small>すす</small> 進んで参加していますか。	44	43	13
14	あなたは、 <small>ちいき</small> 地域の方と <small>かた</small> かかわる学習が楽しいですか。	61	31	8

(%)

○確かな学力に関する設問について(設問3・4)

設問3は、今年度も9割以上の児童が「とても」「ふつう」と答えている。中でも、「とても」と答えた児童が増えていることから道徳科など、自分の考えを話すことを大切に取り組んできている成果が見られる。自己表現が苦手な児童もまだまだ存在するので、学年の縦のつながりも意識し、継続した支援を行っていくことが必要である。逆に設問4では、「とても」「ふつう」が9割以上を保ってはいるものの、「とても」は少し減り、「あまり」が少し増えている。進んで学習するために課題設定、問題解決など児童自身が考えて主体的に学習に取り組めるように授業や指導の改善に努めていきたい。

○豊かな心に関する設問について(設問5・6)

設問5・6の「とても」が増えている。「とても」「ふつう」と答えた児童は、昨年に引き続き90%以上になる。たてわり活動などの学年を超えた関わりを通して学校生活が楽しいと感じている児童が多いと思われる。「あまり」と答えている児童が安心して生活できるように、引き続き活動の計画をふり返り、見直ししながら支援していきたい。

○健やかな体に関する設問について(設問7・8・9)

全体を通して、「とても」「ふつう」と答えている児童が多いことから、「健やかな体づくり」について、意識が高いと考えられる。しかし、健康のために体を動かしたり、食事や健康に気を付けたりすることについて「あまり」と答えている児童もいる。「あまり」の児童には学級健康目標に応じた取組の中で声掛けをするなど、休み時間の遊びだけにとどまらず、今後も「食」の学び、体育および保健指導、くすのき会議、外で遊ぶ週間などの教育活動を通して、「健やかな体づくり」を推進していきたい。

○児童指導に関する設問について(設問10・11・12)

設問10で「とても」「ふつう」と答えている児童が多い。しかし、実際には守れていない場面も見られる。きまりを確認できるよう、その場での指導を心掛け、落ち着いて学校生活を送れるよう指導を継続していきたい。設問12で「あまり」と答えている児童がいるが、昨年度より減少している。引き続き、「信頼できる大人」となれるよう、保護者の方や地域の方、職員と連携してきめ細かに寄り添っていくことを心掛けていきたい。

○地域連携に関わる設問について(設問13・14)

設問13について、「とても」「ふつう」と答えた児童が、ここ数年約90%を保っている。多少の増減はあるが、家庭の地域の活動への意識が高いことがわかる。設問14でも、「とても」「ふつう」と答えた児童が92パーセントとなり、「とても」と答えている児童も増えている。学校の教育活動でも地域の方とのつながりを大切にし、「ふるさと丸山台」の良さを実感できるよう、今後も継続して連携を深めていきたい。

